

山を楽しむための必須アイテム



- 帽子
- リュックサック
- 登山服
- 手袋
- トレッキングポール（ストック）
- 登山靴

※リュックサックには、水筒（水）、防寒着、着替え、タオル、雨具、トイレトパー、救急セット（ばんそうこうなど）、携帯電話、非常食・行動食、地図、コンパスなどを入れよう！

中岳登山 Infomation



- 標高 677m
- 所要時間（往復） 約2時間30分
- とっておき情報 中岳・滝巡りのセットコースは約3時間30分

関美里吾平コミュニティ協議会 ☎ 0994-58-6566



杖立ての滝

を往復する登山コース以外に、中岳登山とセットで、この4つの滝を巡ることが出来るコースもあります。

○杖立ての滝
林道も無い昔、谷川沿いに登山道があり、山仕事に行く人や登山客等がその周辺の景観に惚れ、杖を止めて眺めたことからこの名が付いたと言われています。この辺りの地名も「杖立て」と言います。

中岳とともに楽しめる4つの滝

中岳の麓には神野溪流の4つの滝があります。登山口と中岳



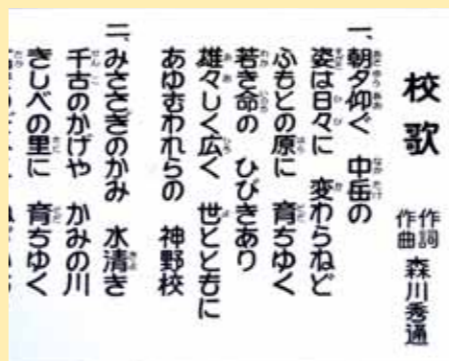
始良川から望む中岳

中岳

吾平町神野にある中岳は、円錐状の美しい山で、「吾平富士」・「神野富士」とも呼ばれ、神野だけでなく、吾平のシンボルとなっています。

昔から登山客は訪れていましたが、登山道があまり整備されておらず、山中はうっそうとしており、一般の登山者には難所が多かったことから、平成27年度、地元有志により、登山道の整備作業が行われ、平成28年3月に中岳トレッキングコースとして完成しました。

登山口は吾平町浄水場水源地付近で、そこから山頂までの登山道は、山の形状のとおり険しい道のり。途中、あちらこちらに立つ老木と苔むした巨大な倒木に圧倒されながら、延々と登山



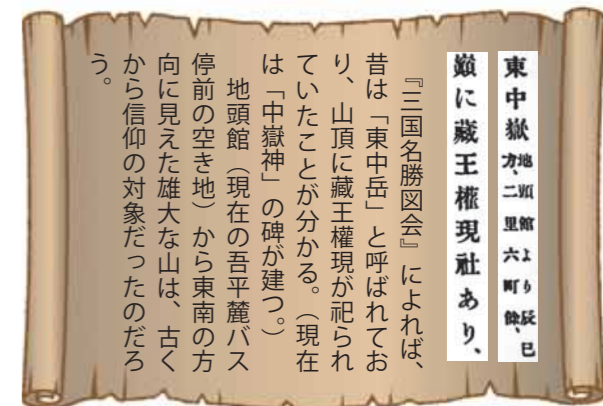
旧神野小・中学校の校歌

旧神野小・中学校の校歌で、最初に謳われたのは「中岳」。この歌のとおり、神野に暮らす人々は、遠い昔から、目の前に高くそびえる美しき山を毎日のように仰ぎ見て、敬い、親しんできたのだろう。

登山口は吾平町浄水場水源地付近で、そこから山頂までの登山道は、山の形状のとおり険しい道のり。途中、あちらこちらに立つ老木と苔むした巨大な倒木に圧倒されながら、延々と登山



登山道に丁寧に設置された階段



山頂からは北東方向に志布志湾、南西方向に知林ヶ島や開聞岳が望めます。



見晴らしの良い「前岳」からの眺望
左は高隈山、中央奥には錦江湾を経て霧島山が見える

自慢の登山道です！



神野町内会
会長 上之原昇さん

中岳登山道整備のメンバーは5人～10人程度で、仕事を引退した60歳～70歳代が中心でした。平成27年6月頃、必要な階段や看板の数・設置場所等を調べるために現地調査を行い、この年の10月から約半年かけて作業を行いました。苦労したのが材料や道具の搬入でした。階段に使用するため、背中に2mぐらいの丸太を5本背負って歩くのはつらかったですね。防腐処理された丸太は重いのです。おまけに整備前なので、途中で木々に引っかかって、なかなか思うようにはいきませんでした。そんな苦労を乗り越えて、登山道が完成した時は本当に嬉しかったですね。協力してくれた皆さんのお陰だと思ひます。



中岳登山ボランティアガイド
阿多久美さん

登山道に設置した階段は662段。当初300段と見積もっていたのですが、登山者のことを考えて作業を行った結果です。山頂や休憩所にある丸太のベンチは、芯だけ残った枯れたヒノキを利用したものです。これは「枯損木」と言って腐らないもの。階段の一部にも利用しています。

中岳の登山口は神野の集落の近くで、すぐ登れるのが魅力。見晴らしもよく、美しい滝もあります。整備してから神野を訪れる人が増えました。神野に住む人間として大変嬉しいですね。自分たちで整備した登山道なので愛着もあります。市内外から訪れる登山客のためにも、これからも登山道を見守っていきたくと思っています。